

特別公演

修二会の声明

東大寺

東大寺開山良弁僧正

千三百年御遠忌記念

お話 橋村公英
(華嚴宗管長・東大寺別當)

初夜の悔過作法^{けか}
初夜の悔過作法
―― 休憩 ―
走り^こ
後夜の悔過作法^{しや}
後夜の悔過作法
後夜の大導師作法
後夜の咒師作法^{しゆし}
後夜の悔過作法^{じんじよう}
晨朝の悔過作法

〈出演〉東大寺一山僧侶ほか

2023.
5/13(土) 14:00開演(13:00開場)
フェスティバルホール 上演時間:約3時間半(休憩含む)
(大阪市北区中之島2-3-18)

S席8,500円、A席7,500円、B席6,500円、SS席9,500円、BOX席13,000円、
バルコニーBOX席(2席セット)17,000円、学生席3,000円

*バルコニーBOX席はフェスティバルホール チケットセンターでの電話予約のみ *学生席はフェスティバルホール チケットセンターのみで販売(25歳以下/学生本人の名前でご予約ください/当日指定券と引き換え/引き換え時、学生証をご提示ください) *未就学児の入場はご遠慮ください

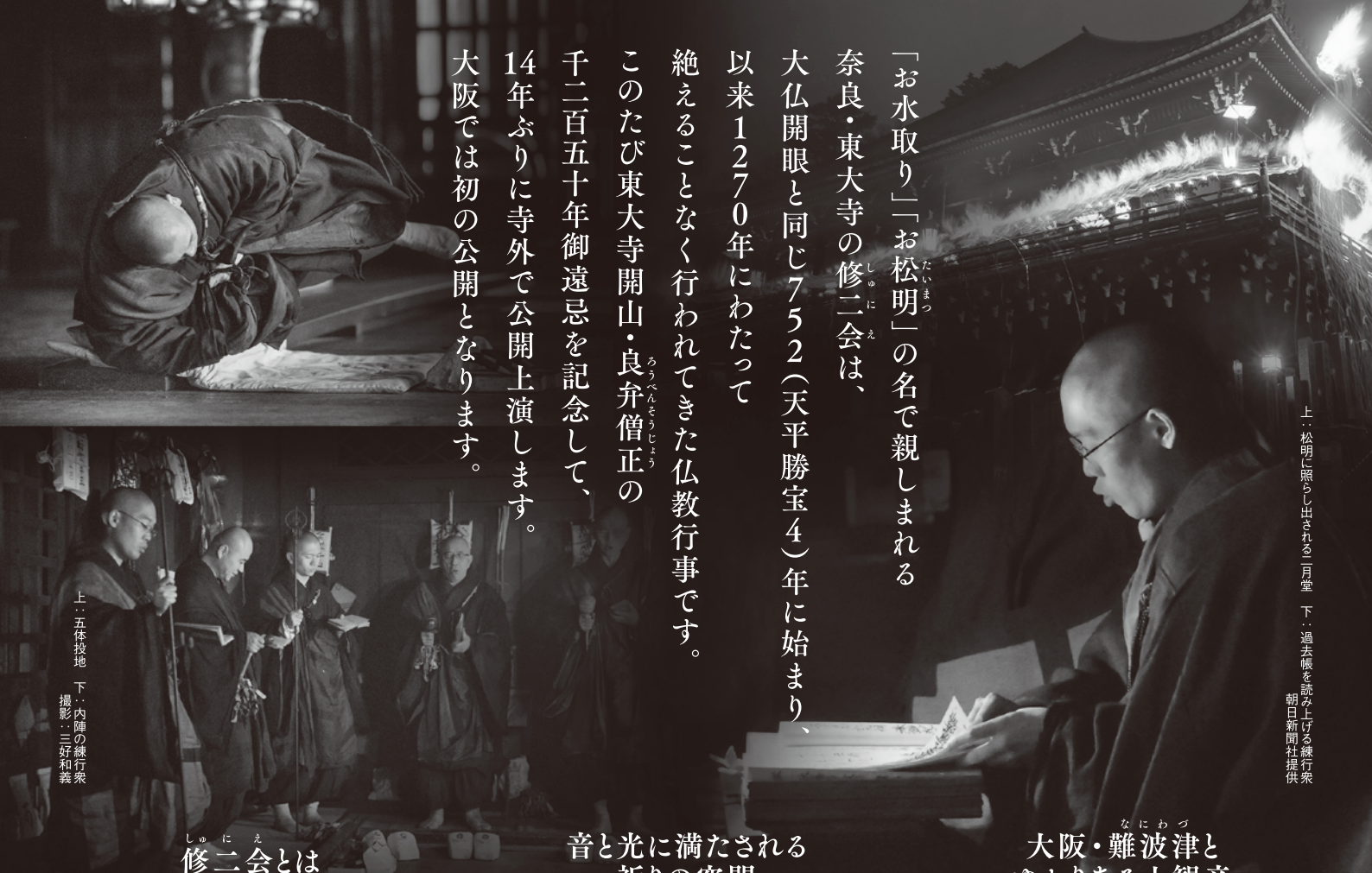
主催:朝日新聞文化財団、朝日新聞社、フェスティバルホール
協力:華嚴宗大本山東大寺、日本芸術文化振興会(国立劇場)
協賛:朝日放送グループホールディングス、関電工、ダイキン工業、
大和ハウス工業、高砂熱学工業、竹中工務店、西原衛生工業所

【お問い合わせ】フェスティバルホール Tel 06-6231-2221 <https://www.festivalhall.jp/>

2023年
1/21(土)
一般発売

※窓口販売は
1月22日(日)より
(残席がある場合のみ)

2023年
1/14(土)
フェスティバルホール
「友の会」
優先予約開始



上：松明に照らし出される二月堂 下：過去帳を読み上げる練行衆
朝日新聞社提供

「お水取り」「お松明」の名で親しまれる

奈良・東大寺の修二会は、

大仏開眼と同じ752(天平勝宝4)年に始まり、
以来1270年にわたって

絶えることなく行われてきた仏教行事です。

このたび東大寺開山・良弁僧正の

千二百五十年御遠忌を記念して、

14年ぶりに寺外で公開上演します。

大阪では初の公開となります。

修二会とは

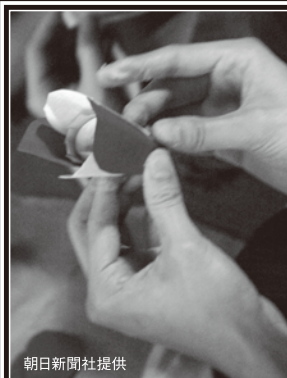
東大寺を開山した良弁僧正の高弟 実忠和尚
によって始められ、正式には「十一面悔過」と呼
ばれる法会です。二月堂の本尊である十一面
観音の前で、練行衆と呼ばれる11人の僧侶が、
すべての人々に成り代わって罪や過ちを懺悔し、
天下泰安、五穀豊穰、万民豊樂を祈ります。
3月1日から14日間、二月堂に籠って行われる本
行では、一日を「日中、日没、初夜、半夜、後夜、
晨朝」の六時に分け、声明(節)のついたお経
を唱えながら、五体投地や「走り」など、激しい所
作を伴う行法が深夜まで続きます。

音と光に満たされる 祈りの空間

緩急をつけて唱えられる声明は力強く抑揚に
富み、鐘や鈴、法螺貝の音も加わって、一つ
の仏教音楽をなしています。さらに五体を打ち
付ける板の音、練行衆たちの履物の音が堂
内に響き、中央の須弥壇を照らす燈明の光、
煤の匂いなど一体となって、日常を離れた異
空間を作り出します。
今回の特別公演では、練行衆しか立ち入る
ことのできない二月堂内陣の様子をフェスティ
バルホールの舞台上に再現して、祈りの空間
を現出させます。

大阪・難波津と ゆかりある小観音

本行の後半、下七日に本尊として迎えられる
小観音はその昔、補陀落山からはるばる海を
渡り、難波津へ来臨したと伝えられています。
「実忠和尚が摂津国難波津へ行き、補陀落
山に向かって香や花を供えて一心に祈ること
百日、ついに生身の十一面観音が闕伽の器
に乗ってやってきた。これを安置したお堂を今
は二月堂という」(『二月堂縁起絵巻』)。
現在の中之島のほど近くともいわれる難波津
とのゆかりに、古への想いが膨らみます。



朝日新聞社提供

関連講座

「東大寺の修二会 お話と花ごしらえ体験」

東大寺の僧侶から、修二会についてのお話を伺います。
修二会では二月堂本尊の十一面観音に供えるため、
練行衆が椿の造花を作る「花ごしらえ」が行われます。
講座ではその「花ごしらえ」にならない、色紙を使って椿の花を作ります。
できあがった花は、5月にフェスティバルホールで開く
「東大寺 修二会の声明」公演の舞台で使わせていただきます。

主催：朝日カルチャーセンター、朝日新聞文化財団、朝日新聞社

2023年3月26日(日) 13:00～15:30 (予定。途中休憩あり)

会場

アサコムホール
(中之島フェスティバルタワー12階／大阪市北区中之島2-3-18)

講師

北河原公慈(東大寺録事)

受講料

3,800円

お申し込み

朝日カルチャーセンター中之島
06-6222-5224

※募集開始は2023年1月23日(月)

(月～土9:30～18:00、日・祝除く)

詳細は<https://www.asahiculture.jp/nakanoshima>

持参いただく道具

色紙を切るハサミ、鉛筆

定員

先着40名様

〈チケット料金〉

S席8,500円、A席7,500円、B席6,500円、SS席9,500円、BOX席13,000円、
バルコニーBOX席(2席セット)17,000円、学生席3,000円

〈ご予約・お問い合わせ〉

フェスティバルホール チケットセンター 06-6231-2221 (10:00～18:00)

フェスティバルホール オンラインチケット <https://www.festivalhall.jp/> (要事前登録)

〈プレイガイド〉

◎ チケットぴあ <https://t.pia.jp> [Pコード:232-969]

◎ ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード:54072]

◎ CNプレイガイド <https://www.cnplayguide.com/> 0570-08-9999

◎ e+(イープラス) <https://eplus.jp/>

◎ セブンチケット <http://7ticket.jp/sc/21nh>

*やむを得ない事情により演目などを一部変更する場合がございます。
公演中止の場合を除き、チケットの変更・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。